



国道108号古川駅東1丁目を走る緊急車両



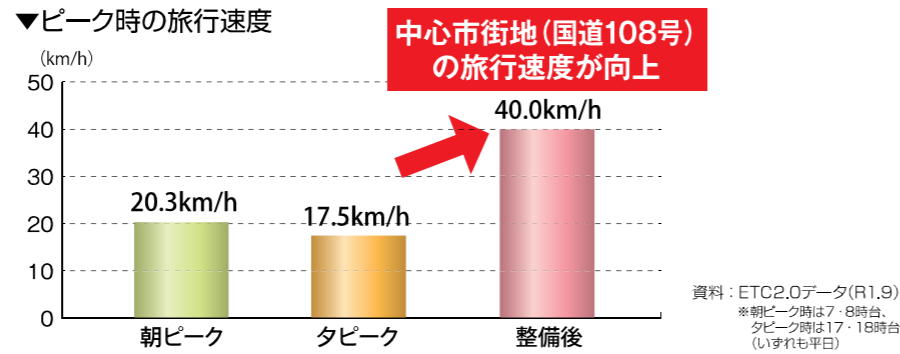
国道108号古川駅東3丁目の道路混雑状況

整備効果

効果 1

中心市街地の混雑緩和

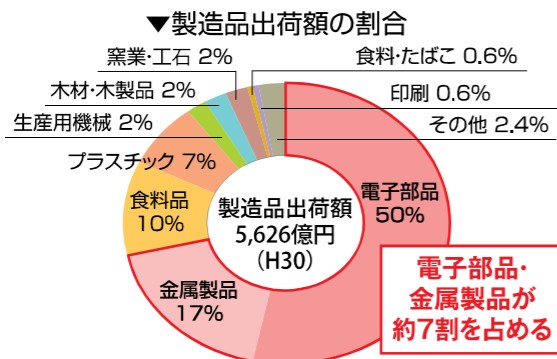
古川東バイパスへの交通転換により、市街地を通過する車両が減り、市街地の混雑緩和が期待される。



効果 2

地域産業の更なる振興を支援

揺れに弱い電子部品、金属製品の輸送に古川東バイパスが貢献

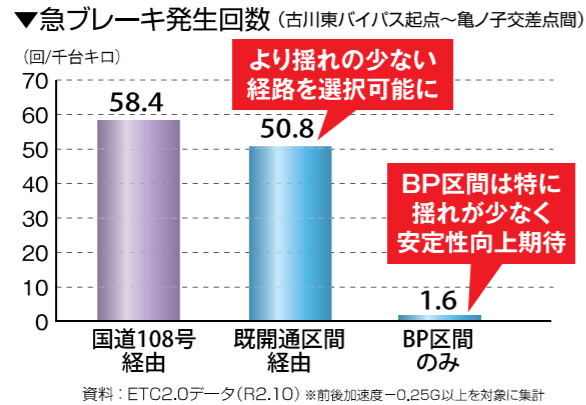


【金属製品製造企業の声】

- 精密機械のため、輸送中の揺れが大敵であり、幅員が確保された、揺れの少ない道路を選択したい。
- 全線開通により混雑区間を回避、輸送時の安定性が期待される。(R3.7ヒアリング結果)

効果 3

救急医療活動を支援



【大崎地域広域行政事務組合の声】

- 市街地は信号や渋滞が多く、緊急搬送時の急ブレーキや揺れが患者の負担になる。
- 全線整備された場合、大崎市民病院までの揺れの少ないルートとして利用することを想定。(R3.7ヒアリング結果)

国道108号 古川東バイパス

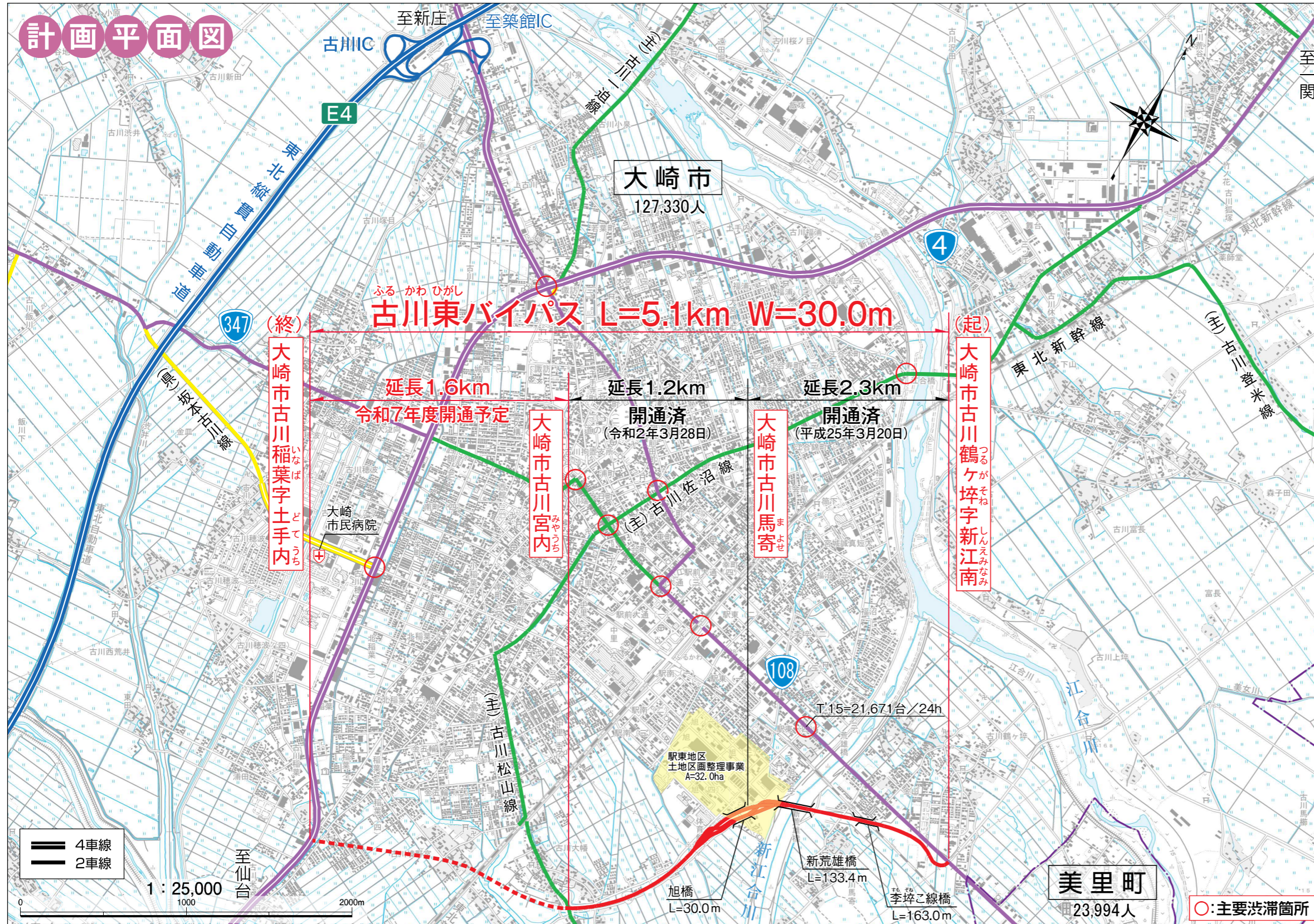


事業概要

大崎市内を通過する国道108号は、近年の交通量の増加に伴い、交通混雑や救急医療活動に支障をきたしていました。これらの諸問題を解消するため、大崎市街地を南側に迂回する延長5.1kmのバイパスが計画されました。

令和2年3月までに、L=3.5kmを暫定2車線で供用し、残区間については、令和7年度に全線暫定供用予定です。

■事業進捗状況



■古川東バイパス位置図



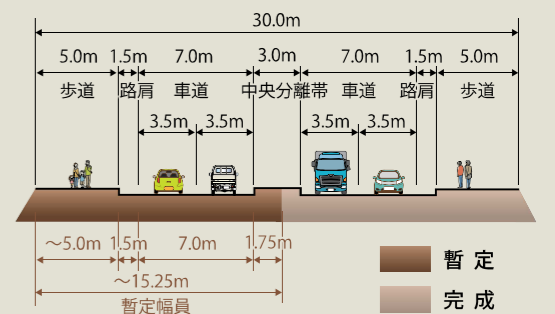
事業経緯

- 平成2年度 事業着手
- 平成7年度 用地着手
- 平成19年度 工事着手
- 平成24年度 古川鶴ヶ坪～古川馬寄間2車線供用
- 令和元年度 古川馬寄～古川宮内間2車線供用
- 令和7年度 全線暫定供用予定

計画諸元

区間	起点	大崎市古川鶴ヶ坪字新江南
	終点	大崎市古川稲葉字土手内
延長	L=5.1km	
構造規格	第3種 第1級	
設計速度	80km/h	

標準断面図



※歩道に緩衝緑地帯を含む